

[トヨタ]ECB エア抜き (例 : プリウス ZVW30/プリウスα NHR40)

- 注意 :
- ・エア抜き実施中はシフトポジション P レンジ、パーキングブレーキが効いた状態で作業を行って下さい。
 - ・リザーバのブレーキアクチュエータチューブ No.1 (ブレーキブースタポンプ ASSY リザーバ間チューブ) 取付けポートよりフルード液面を低下させ、チューブ内にエアが混入するとフルードエア抜き作業中のポンプモータ駆動によってブレーキブースタポンプ ASSY 内にエアが噛み込んでしまいエア抜きが困難となります。
 - ・エア抜き実施中はフルード缶をリザーバタンク注入口に立てず、ブレーキフルードをリザーバタンクの MIN-MAX ラインの間を保つ様に随時調整しながら行って下さい。
 - ・エア抜き作業中にアキュムレータ圧低下によりブザーが作動する可能性があります異常ではありませんので、作業はそのまま続行して下さい。
 - ・フルードエア抜き時にポンプモータ保護の為、連続駆動は 100 秒以内で行って下さい。ブレーキペダルを解放するとポンプモータの駆動が停止します。作業が 100 秒以上かかる場合は一旦停止させて行って下さい。
 - ・エア抜きを行うと圧力センサ異常などの故障コードがメモリされる可能性がありますので作業終了後、故障コードの消去を行って下さい。
 - ・塗装面にフルードが付着しない様に注意し、付着した場合はすみやかに洗い落して下さい。

手順/操作

● ECB エア抜き

1.	イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM-R を車両に接続して下さい。	
2.	イグニッションスイッチを ON にして下さい。 (ブレーキペダルを踏まずに、 プッシュスタートスイッチを 2 回押します)	 <p data-bbox="1166 1630 1481 1778">ブレーキを踏まずに、2 回プッシュします。</p>

<p>3.</p>	<p>『メーカー選択』画面から 〔国産乗用車〕 - 〔トヨタ/レクサス〕 を 選択して [ENTER] を押して下さい。</p>	
<p>4.</p>	<p>『地域設定』画面から 〔日本〕 を選択して [ENTER] を押して下さい。</p>	
<p>5.</p>	<p>『車両選択』から [自動選択] を選択し [ENTER] を 押して下さい。</p>	

6.

自動で検出された車両情報に間違いが無い事を確認して [ENTER] を押して下さい。

ブランド Vbat 12.02 V

TOYOTA

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

車名

PRIUS α

PRIUS

PRIUS PHV

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

車型

ZVW3#

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

エンジン型式

ZZR-FXE

ENTER : 選択 EXIT : 戻る

オプション

2009(H21)年4月~2010(H22)年10月

2010(H22)年11月~2011(H23)年11月

2011(H23)年12月~2013(H25)年9月

2013(H25)年10月~




ENTER : 選択 EXIT : 戻る

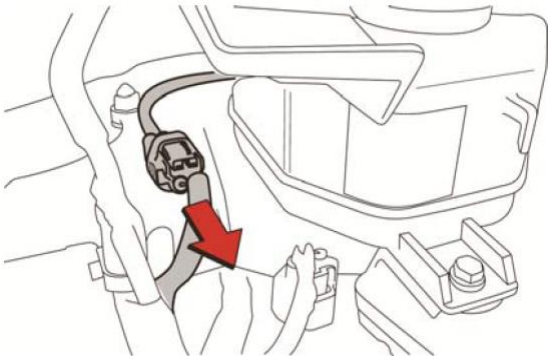
オプション

ミリ波レーダー

その他

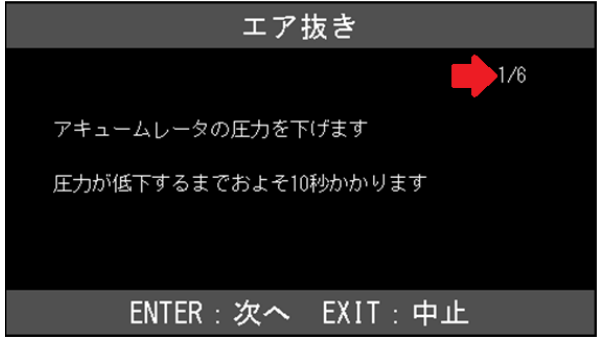
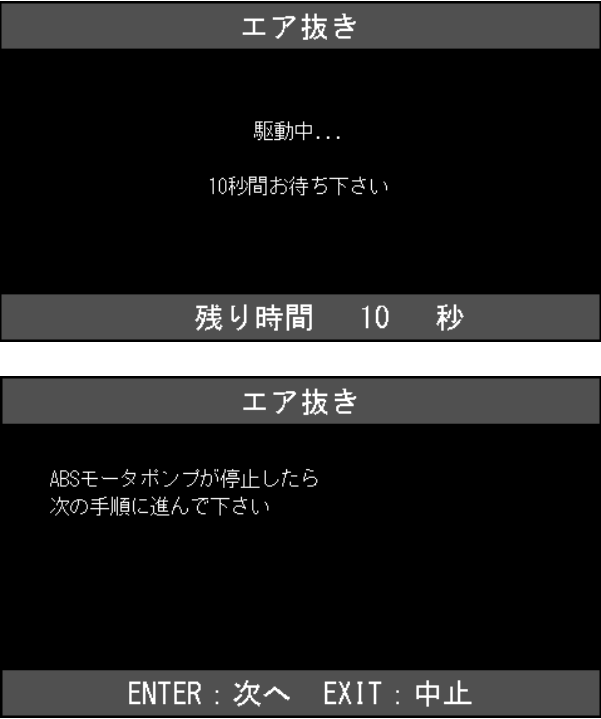
ENTER : 選択 EXIT : 戻る

<p>7.</p>	<p>『トヨタ メインメニュー』画面から [作業サポート] を選択して [ENTER] を 押して下さい。</p>	 <p>トヨタ メインメニュー Vbat 11.98 V</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート</p> <p>アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>8.</p>	<p>『作業サポート』画面から [作業サポート (New)] を選択します。</p>	 <p>作業サポート Vbat 11.97 V</p> <p>作業サポート [New]</p> <p>作業サポート [Previous]</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>9.</p>	<p>『作業サポート』から [ABS/VSC] を選択し [ENTER] を押して下さい。</p>	 <p>作業サポート</p> <p>エンジン</p> <p>HV</p> <p>ABS/VSC</p> <p>電動パワステ</p> <p>A/C</p> <p>エアバッグ</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
<p>10.</p>	<p>『ABS サポート』から [エア抜き] を選択し [ENTER] を押して下さい。</p>	 <p>ABS サポート</p> <p>エア抜き</p> <p>リニア学習値初期化</p> <p>チェックモード移行</p> <p>電子制御ブレーキサポート</p> <p>バックアップメモリ消去</p> <p>ヨーレート- Gセンサ0点消去</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>

<p>11.</p>	<p>『エア抜きの種類を選択』から[通常のエア抜き]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p> <p>[アクチュエータ交換後]は「ブレーキブースタポンプ ASSY」、「ブレーキブースタ ASSY (マスタシリンダ付)」、「ブレーキマスタシリンダリザーバ ASSY」を交換した際に実施します。</p> <p>車検整備等では[通常のエア抜き]を実施して下さい。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エア抜きの種類を選択</p> <p>通常のエア抜き アクチュエータ交換後</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p style="text-align: center;">ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p> </div>
<p>12.</p>	<p>ブレーキシステム内のエア抜きを行います</p> <p>[注意] エア抜き中にリザーブタンク内のブレーキフルードが下限を下回らないように気を付けて下さい</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エア抜き</p> <p>ブレーキシステム内のエア抜きを行います</p> <p>[注意] エア抜き中にリザーブタンク内のブレーキフルードが下限を下回らないように気を付けて下さい</p> <hr/> <p style="text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> </div>
<p>13.</p>	<p>以下の条件を確認して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車両が停止していること ・ パーキングブレーキが引いてあること ・ イグニッション ON であること ・ リザーバレベルスイッチ用コネクタが外れている事 <p>条件が全て整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エア抜き</p> <p>以下の条件を確認して下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> - 車両が停止していること - パーキングブレーキが引いてあること - イグニッション ON であること - リザーバレベルスイッチ用コネクタが 外れていること <hr/> <p style="text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>

<p>14.</p>	<p>ブレーキペダルを踏んだ状態で RR 輪のブリーダプラグを緩めて下さい。</p> <p>RR 輪 = 右後</p> <p>表示に従い作業を行い [ENTER] を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ブレーキペダルを踏んだ状態でRR輪のブリーダプラグを緩めて下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>15.</p>	<p>RR 輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けて下さい。</p> <p>RR 輪のエアが抜けたら RR 輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい。</p> <p>表示に従い作業を行い [ENTER] を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> RR輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けて下さい RR輪のエアが抜けたらRR輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>16.</p>	<p>ブレーキペダルを踏んだ状態で RL 輪のブリーダプラグを緩めて下さい</p> <p>RL 輪 = 左後</p> <p>表示に従い作業を行い [ENTER] を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ブレーキペダルを踏んだ状態でRL輪のブリーダプラグを緩めて下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>17.</p>	<p>RL 輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けて下さい。</p> <p>RL 輪のエアが抜けたら RL 輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい。</p> <p>表示に従い作業を行い [ENTER] を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> RL輪のエアが抜けるまでブレーキペダルを踏み続けて下さい RL輪のエアが抜けたらRL輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>

<p>18.</p>	<p>ペダリング後、ブレーキペダルを踏んだ状態で FL 輪のブリーダプラグを緩めてエア抜きを行って下さい</p> <p>FL 輪 = 左前</p> <p>表示に従い作業を行い[ENTER]を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ペダリング後、ブレーキペダルを踏んだ状態でFL輪のブリーダプラグを緩めてエア抜きを行って下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>19.</p>	<p>FL 輪のエアが抜けたら FL 輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい</p> <p>表示に従い作業を行い[ENTER]を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> FL輪のエアが抜けたらFL輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>20.</p>	<p>ペダリング後、ブレーキペダルを踏んだ状態で FR 輪のブリーダプラグを緩めてエア抜きを行って下さい</p> <p>FR 輪 = 右前</p> <p>表示に従い作業を行い[ENTER]を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ペダリング後、ブレーキペダルを踏んだ状態でFR輪のブリーダプラグを緩めてエア抜きを行って下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>21.</p>	<p>FR 輪のエアが抜けたら FR 輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい。</p> <p>表示に従い作業を行い[ENTER]を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> FR輪のエアが抜けたらFR輪のブリーダプラグを締め、ブレーキペダルを放して下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>

<p>22.</p>	<p>アキュムレータの圧力を下げます</p> <p>圧力が低下するまでおよそ 10 秒かかります</p> <p>アキュムレータの減圧と蓄圧を行います。 6 回連続して行い、行った回数が画面右上に表示されます。(1/6~6/6)</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>23.</p>	<p>駆動中…</p> <p>10 秒間お待ち下さい</p> <p>減圧を行っています。そのままお待ち下さい。</p> <p>ABS モータポンプが停止したら 次の手順に進んで下さい。</p> <p>ABS モータポンプの作動音が停止したら [ENTER]を押して下さい。 この作業を表示に従い 6 回繰り返し行って 下さい。</p>	

<p>24.</p>	<p>ブレーキフルードをリザーバタンクの MAX ラインに合わせて下さい。</p> <p>6 回目の減圧中にこの画面が表示されます。 フルード量を調整し [ENTER] を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ブレーキフルードをリザーバタンクの MAXラインに合わせて下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>25.</p>	<p>ABS モータポンプが停止したら IG OFF し リザーバレベルスイッチ用コネクタを接続して 下さい。</p> <p>ABS ポンプモータの作動音が止まっている事を 確認し、イグニッションを OFF にして下さい。 その後、リザーバレベルスイッチ用コネクタを 接続し [ENTER] を押して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> ABSモータポンプが停止したらIG OFFし、 リザーバレベルスイッチ用コネクタを接続して下さい </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</div>
<p>26.</p>	<p>エア抜き処理が正常に終了しました</p> <p>故障コードがメモリされていればイグニッション ON にして消去を行って下さい。 故障コードがメモリされていない、または故障コ ードの消去が完了しましたら、以上で作業完了 となります。 イグニッションが OFF になっている事を確認し 『トヨタメインメニュー』まで画面を 戻し安全に TPM-R を取り外して下さい。</p>	<div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">エア抜き</div> <div style="background-color: #000; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> エア抜き処理が正常に終了しました </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;">ENTER/EXIT : 終了</div>
<p>!</p>	<p>念の為、作業完了後はフルードの漏れが無い事、各ブリーダプラグが緩み無く締め付けられて いる事、リザーバタンクのフルード量が MAX ラインにある事を確認して下さい。</p>	